

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和07年03月31日

計画の名称	堺旧港周辺地区における海辺文化・賑わいの再興														
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	堺市														
計画の目標	<大目標> 都心での海辺文化・賑わいの再興														
	目標1：歴史・文化資源が豊富な堺旧港に隣接している特性を活かし、多くの市民・来訪者が海辺で憩い、海を眺めることができる非日常的な交流空間を形成する。														
	目標2：都心地域内での海辺の立地特性を活かし、民間事業者による商業機能の導入による魅力的な賑わい空間を創出する。														
	目標3：地区内の回遊性を高め、市民・来訪者が海を眺めながら、快適で安全に散策できるパブリックアクセスの充実を図る。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		838	A	838	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30 当初		R4 末
1	親水性護岸の利用者数			
	親水護岸の年間利用者数	16425人/年	人/年	58760人/年
2	堺旧港の認知度・魅力度			
	イベント参加者への堺旧港認知度アンケート	27%	%	50%
3	堺駅の乗降客数			
	1年間の南海本線堺駅の乗降客数のうち、定期利用を除いた数	5978千人/年	千人/年	7174千人/年

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	堺市	直接	堺市	-	-	堺旧港周辺地区都市再生 整備計画事業	A=約34ha	堺市	■	■	■	■	■	838		-	
												小計						838		
											合計						838			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

堺市

事後評価の実施時期

令和6年10月

公表の方法

市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・関連事業である民間施設の開業（一部）や大浜体育館でのイベント、親水護岸での社会実験の実施等により、魅力創出等活性化が図られている。
- ・海と市街地を接続する連絡橋を設置することにより、海と市街地との連続性が確保された。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

- ・事業用地において、周辺地域住民に対する地域活性化イベントの積極的な展開や、観光客や市民が利用できる空間整備により、魅力あるウォーターフロント、賑わい空間を形成する。
- ・堺旧港地区内で市民・来訪者が快適で安全に散策できるパブリックアクセスの充実を図ることで、回遊性を高める。
- ・事業用地から大浜公園までの歩行者動線を円滑な歩行者動線の確保に向けて検討する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	親水性護岸の利用者数		
	最 終 目標値	58760人/年	歩行者通路、連絡橋整備のほか、関連事業である民間施設（一部）の開業、大浜体育館建替整備、親水護岸整備をしたことにより、利用者が増えたと考える。
	最 終 実績値	361846人/年	
2	堺旧港の認知度・魅力度		
	最 終 目標値	50%	関連事業である民間施設（一部）の開業したほか、大浜体育館での大会やイベント開催、親水護岸での社会実験の実施等による情報発信を行うことにより認知度が向上したと考える。
	最 終 実績値	57%	
3	堺駅の乗降客数		
	最 終 目標値	7174千人/年	新型コロナウイルス感染症の影響により、発生以降乗降客数が大幅に減少し、現状も回帰できていない状況であるが、指標1、2が十分に達成できていることから、今後も引き続き、民間事業者と連携しながら魅力創出、情報発信等に取り組む。
	最 終 実績値	5517千人/年	